



◆平成 26 年度大崎町立学校教職員指導力向上研修会が開催されました

7月31日(木)に町内小・中学校の教職員を対象にした指導力向上研修会が開催されました。前半では、先日、学力日本一の秋田県に研修に行かれた大崎中学校の山本良一先生による研修報告が行われ、本町でもできる取り組みについて発表していただきました。後半では、講師に鹿児島県総合教育センター企画課長の牧原勝志先生をお招きし、『授業力を高める校内研修の在り方』という題で講話をしていただき、その後グループに分かれて効果的な研修の進め方について演習を行いました。

講話の中では、県の学力の実態や授業力を高めることの必要性、校内で進める効果的な研修について話をしていただきました。また、演習では、さまざまな研修の手法について紹介していただくことで、各校の実態に合わせた効果的な研修について学ぶことができました。先生方一人ひとりの授業力を高め、学校として児童生徒の学力向上をめざす本町の先生方の姿が見られました。



▲研修会の様子

まぶい窓おしえの庭

子どもを支える親の姿

NO.25 菱田小学校長 青山 信男

「おはようございます」と元気な明るいあいさつで学校の1日はスタートします。子どもたちが元気に登校してくれるその陰には、遅刻をしないよう起こし、朝食を食べさせ、行ってらっしゃいと声をかける親の姿が想像できます。親として当たり前のことなのですが、その姿に感謝しています。

本校では『笑顔であいさつ』を行動目標の1つとして取り組んでいます。子どもたちのあいさつで気持ちがとても明るくなります。きっと家庭でもそのようなあいさつが交わされているのだろうと思います。人と人との出会いの中であいさつが交わされていないという状態は、心や体に何か異常がある時ではないかと思えます。『あいさつをする、あいさつができる』大崎の子どもたちであってほしいと願います。

さて、休み明けに、『なんだか疲れている、あくびが多い、気分が優れずに保健室に来室する』などの子どもが増えていると聞いたことがあります。不規則な生活がその原因の1つとして挙げられています。町PTA連絡協議会では重点運動項目として『早寝 早起き 朝ごはん』の推進を掲げています。子どもたちが本来の活動に没頭できるよう、親は子どもの生活環境を整えることが重要です。

また、最近、『叱らない、叱れない親・大人』が増えているように感じます。生命にかかわる危険な行為や他人に迷惑な行為など、反社会的な行動に対しては『叱ること』が重要です。悪い行いを厳しく叱れるのは深い愛情をもった親が一番です。

子どもが良いことをしたときは大いに褒め、間違ったことをしたときは厳しく叱る。それがわが子を、大崎の子どもたちを、将来、幸せな大人にするのだと思います。